

普通科課題研究ルーブリック



この単元は、次の①～⑥を対象として、下記のルーブリックに基づいて評価します。

- ① テーマ決定用紙(8/28㍻切) ② 中間発表用ポスター(10月下旬㍻切)
 ③ ポスターセッション用ポスター ④ ポスターセッション用発表原稿
 ⑤ 毎回の授業の「振り返り用紙」 ⑥ 研究活動への参加状況

評価時期	対象	知識・技能	Level 5	Level 4	Level 3	Level 2	Level 1
ポスターセッション実施前	ポスター発表用原稿	先行研究調査	【Level4】に加え、情報を比較、分析し、課題設定や調査・研究に反映させることができた。	公的機関、学術機関等によって成果が認められている情報を、2点以上あたっている。	公的機関、学術機関等によって成果が認められている情報1点のみにあたっている。	公的機関、学術機関等以外が公開した情報のみにあたっている。	先行研究調査を行っていない。(参考文献に関する記載がない。)
ポスターセッション実施前	ポスター発表用原稿	研究の手続き		実験・調査の際に、科学的・実証的手続きを正しくふまえることができた。	実験・調査の際の科学的・実証的手続きに、軽微な不備があった。	実験・調査の際の科学的・実証的手続きに、重大な不備があった。	

評価時期	対象	思考・判断・表現	Level 5	Level 4	Level 3	Level 2	Level 1
テーマ決定～中間発表時	テーマ決定用紙 中間発表の内容	課題設定【中間発表まで】		研究に必要な基礎的知識について調べ、かつ、具体的な実験、観察、調査等の方法を想定して課題を設定することができた。	研究に必要な基礎的知識を調べ、課題を設定することができた。(課題の質は問わない。)	課題を設定することができたが、研究に必要な基礎的知識の調査が不十分であった(課題の質は問わない。)	課題設定時から調査が全く進んでいない。または、課題を設定できていない。
ポスターセッション実施前	ポスター発表用原稿	課題設定【中間発表以降】	【Level4】に加え、研究成果について、学校外で発表、展示するなどの実績があった。	学術的または社会的な価値につながる可能性があり、かつ、授業の範囲内で検証可能な課題を設定できた。	学術的または社会的な価値につながる可能性はあるが、授業の範囲内では検証が困難な課題を設定した。	個人の興味・関心の領域にとどまり、学術的、または社会的な価値につながる可能性が低い課題を設定した。	
ポスターセッション実施前	ポスター発表用原稿	論理性		結論と根拠が示されており、かつ、2者の関係が客観的で妥当であった。	結論と根拠が示されているが、2者の関係が主観的もしくは恣意的であった。	結論は示されているが、論拠が示されていない。	実験・調査の内容のみが記されており、結論、論拠ともに記されていない。

(この観点は次ページに続く)

評価時期	対象	思考・判断・表現	Level 5	Level 4	Level 3	Level 2	Level 1
ポスターセッション実施前	発表用原稿	相手意識	【Level4】に加え、学校外の不特定多数への発表を想定し、それにふさわしい発表原稿を作成することができた。	研究内容を説明するための、簡潔かつ、理解しやすい表現の発表原稿を作成することができた。	研究内容を説明するための発表原稿を作成することができた。	研究内容の説明が乏しく、研究とは直接関係のない情報を盛り込んだ発表原稿だった。	
ポスターセッション実施前	ポスター	ポスターの構成		必要な情報が記されており、かつ、論理展開と読み手の視線の流れが一致していた。	必要な情報が記されているが、読み手の視線の流れと論理展開が一致していなかった。	必要な情報が記されていなかった。	
ポスターセッション実施前	ポスター	ポスターの見やすさ	【Level4】に加え、各コンテンツが整然と配置されており、見やすかった。	文字情報に加え、研究内容を説明するための視覚に訴える情報(図表、写真、グラフなど)が効果的に記されていた。	文字情報に加え、視覚に訴える情報(図表、写真、グラフなど)が記されていたが、工夫が足りなかった。	研究内容を説明するためには必要があるにもかかわらず、視覚に訴える情報(図表、写真、グラフなど)が記されていなかった。	

評価時期	対象	主体的に学習に取り組む態度	Level 5	Level 4	Level 3	Level 2	Level 1
毎時間*	振り返り用紙	探究的な学習に向かう態度	毎回提出する「振り返り用紙」及び研究活動への参加状況から総合的に判断する。				